



法人だより

たまふく

みんなに支えられながら、

安心して保育できる職場に

◆保育士×理事長インタビュー

安川信一郎 多摩福祉会 理事長

N・S 向山保育園保育士

2023年度入職

N・S どうして、こぐま保育園に就職されたんですか？

安川 もとは養護学校の教員を志望していたのですが、うまくいかなくて。大学時代にサークルで児童文化を学んでいたのが、ゼミの先生に紹介してもらってこぐま保育園に就職することになりました。当時男性は保育士資格が取れなかったため、無資格で就職したんですよ。

N・S へー！驚きです！働いていてどんなことが楽しかったですか？
安川 学生時代は保育の勉強も実習もしていなかったですから、小さ

い子どもってかわいいかなんからしいの気持ちで働き始めました。当時、こぐま保育園は年齢別の保育をしていて、今と比べるとずいぶん悪条件のなかで働いていましたね。楽しさよりも大変なことの方が多かったように思います。そんななかでよく覚えているのは、5年目の年に一緒に組んだ先生のこと。発想豊かな先生で、いつも子どもたちに「なにしたい？」「どんなことしたい？」って聞いて活動を決めていてね。それで保育園近くの永山ハイツというところの空いた土地に畑作りをはじめたんですよ。土を掘り起こして、種を子どもたちと植えて、水は保育園からバケツで汲んできて。かかしも子どもたちの提案で作りました。そこで初めて保育が楽しいと思えるようになりました。それまで自分の価値観を子どもたちに押し付ける保育をしていたと気が付いたんですよ。

今号の目次

- 1~2p 保育士×理事長インタビュー
- 3~4p あのころのわたしたち (そらのおうちの座談会)

連絡先

〒155-0031
東京都世田谷区北沢 2-36-9-4F
社会福祉法人多摩福祉会
法人事務局
◆Tel. 03-6804-8345
◆Fax. 03-6804-8347
tamafukushikai@gmail.com

「たまふく」のご感想をお聞かせください。



きもちつながる、思いひろげる。

あと、保護者に支えてもらったことも大きかったですね。3歳から5歳までを受け持った時の保護者と、卒園後も『かきのみ会』で仲良くさせてもらっています。保育士として保護者に育ててもらったと思います。

周りのいろいろな人に支えてもらって今があると感じています。

N・S 保護者との関係作りって大切ですよ。

安川 保護者は不安だったでしょうね。その当時、自分は子育てしてないし、18人の子どもを1人でみていて緊張していました。でも、親同士でフォローし合ってくれたところがあったと思います。自分は字が汚かったですが、子どもたちの様子が保護者に伝わるようにおたよりをたくさん書いてがんばりました。それは自分の糧になったし、勉強になったかなと思っています。

N・S 働いていて特にどんなことを学ばれましたか？
安川 人に優しくならないといけないと思うんですね。自分は欠点だらけで、周りに支えられてやってきたから。お互いを優しい目で見ていくといいのかなと思います。そのため、自分自身の心のゆとりと時間的な余裕が必要だと思っています。そして、今みんな大変ななかで働い



ているから、一人ひとりが心も体もゆとりがもてるような労働環境を作っていきたいと思っています。

N・S 余裕があれば、子どもたちとも丁寧にかかわれますものね。

安川 本当にそうです。

N・S 失敗談などがあればお聞かせください。

安川 いっぱいあって、語り尽せませんね。卒園児と飲みに行った時に昔のエピソードを聞いたんですよ。子どもたちが片づけようと思って投げたブロックが自分に当たっちゃって、怒ってしまったんです。その勢いで子どもたちに「帰れ」と言ったら、本当に帰ってしまったことがありました。情けない話です。本当に申し訳なかった。

N・S えーっ！びっくりです！

安川 失敗のなかから学ぶことがたくさんありました。

N・S 子どもとかかわってきたなかで印象的だったことはどんなことですか。

安川 畑作りの時に、かかしを作ろうと提案してくれた子どものことが印象的です。子どもたちの発想に驚いたり、ダメな自分を子どもが支

えてくれたりしたことが多かったです。

N・S 私も大学の頃は何でも答えられるような保育士を想像していたんです。けれども、子どもたちと一緒に考えていくのもいいのかなと思えるようになってきました。

安川 何でもできなきゃいけないんじゃないかね。周りの職員と子どもに支えられながらやっていけばいいんだから。

N・S そうですよねー。それでは、今大切にしたいことと今後の展望をお尋ねしたいです。

安川 今年、自分は70歳になりました。大学を出てからずっと現場にいたんですが、法人内で今までと違った立場になって、自分がここまで育ててもらった分の恩返しをしていきたいなと思っています。新聞に目を通したり、日本の保育動向に目を向けて法人がどうあるべきか、情報を集めながら考えていきたいと思っています。今はね、福祉自体が厳しい状況にあるからね。本当に必要な制度を作っていくことと、いろいろな形で社会と繋がりがながら多摩福祉会が社会貢献し、地域社会に必要と

される法人になっていきたいと思っています。これからも自分らしく毎日を過ごしていきたいですね。心も体も健康でいたいです。

N・S そうですね。最後に職員に伝えたいメッセージをお願いします。

安川 あんまり無理しないでってことです。一人ひとりの職員が自分らしく、ここで働いていていいんだと安心できるといいなと思っています。子どもたちが集団の中で育っていくのと同じように、大人同士の関係も認め合いながら、一人で抱え込まないで話し合える集団であって欲しいです。あなたもあなたらしく仕事と生活をしていて欲しいと思います。働きはじめの時は緊張したでしょう？

N・S すごく緊張しました。今は周りの人に恵まれていて安心して仕事をしています。

安川 やっぱ安心感が大事だね。
N・S そうですね。今日は本当に貴重なお話をありがとうございました。



2025年4月入職の 保育士さん・栄養士さんを募集しています。



オンライン就職説明会
開催中です。

詳細はホームページを
ご覧ください→



2024年度の「たまふく」はこのメンバーで作っています。
よろしくお願ひします！



- 広報委員会 ●
- 中本 琢也
- 江藤 龍之介
- 亀田 大
- 岡田 織

あのころのわたしたち

◆それらのおうちの座談会

●参加者（卒園年度）

2018年 A・K

2019年 K・S H・N M・N

2020年 C・I A・S

2021年 a・K O・S

T・S Y・N S・H

Y・H（写真のみ）

卒園児保護者の皆様

こぐま保育園職員 S・S

こぐま保育園「それらのおへや」出身の子どもたちによる座談会をこぐま保育園のホールで行いました。貝取小学童クラブの保護者の方に「座談会をおこないたいのですが…」と声を掛けると快く引き受けてくださいました。

当日集まってくれた子どもたちは2〜5年生合わせて11名と、現『どんどん（5歳児）』1名、保護者の方6名。当時のおへや担当だった元こぐま保育園卒園児の大先輩、S先生にもご参加いただき、小学生になった現在、別々の小学校で過ごす仲間たちと、こぐま保育園で過ごした日々を少し振り返ってみました。

子どもたちの中には、卒園してからもう5年ほど経っている子もいます。こぐま保育園での思い出をみんなに聞いてみました。

全員 覚えているよ！いろいろあったもんね。

Y・N 鬼ごっこ楽しかったなあ！

A・K お庭でみんなとやったよね。私はお絵描きが好きだった。

みんな時間が経っても意外と覚えていた様子。特に印象的なこととして、おやつや行事の話が出てきました。

a・k にんじんケーキ好きだった！

H・N みんなでつくったみどりのやつなんだっけ？

a・k よもぎだんご！

M・N よもぎ取ってきて作ったよね。

K・S トトロお神輿とか覚えている？

H・N あー、誰かのお母さんがお酒びゅってやっていたやつだ(笑)

a・k あー、あと荒馬とか？

全員 荒馬ね！なつかし！

C・I 私ちよつとならまだ踊れるかも。

楽しい思い出が次々と出てくる中、いやだった思い出も聞いてみました。すると、全員一致の答えが…？

昔はいやだったお昼寝。でも今になるとほしいよね。

全員 （声をそろえて）お昼寝！！

M・N 先生に気づかれないうように寝たふりして遊んでいたなあ

A・K お昼寝はおしゃべりしていたら先生に怒られた思い出。

C・I てなかなか寝られなかったよね。

職員 みんな寝たふりをしていたの？！

A・K でもさ、今になるとお昼寝ほしいよね。

全員 ほしい〜！！

Y・N 学校で3時間くらいお昼寝の時間にならないかな(笑)

こぐま保育園では異年齢保育をおこなっています。学校では、同じクラスの子は全員同じ年。そんな中で過ごしている子どもたちは、異年齢をどう感じていたのでしょうか？

ちいさい子たちはかわいい！

A・K 私はお兄さんお姉さんに遊んでもらえてうれしかったな。

H・N でもさ、上になったときは下の子の面倒見るの大変だったよね。

T・S ぼくはちいさい子の面倒見

るのはすきだった。

M・N 節分の鬼、めっちゃ怖かったよね！

全員 あ〜！なつかしい！超怖かった！！

O・S みんなトイレに逃げていたよね！

K・S 今なら倒せるよ！

Y・N わかる！でも保育園の頃は無理だったなあ！

保護者 今でもトラウマみたいで、学校に来たら、学童に来たらどうしよう…と怯えています(笑)

M・N 『どんどん』でも、ちいさい子たちを守るなんて無理だった(笑)

楽しかったことも嫌だったことも、様々な思い出が次々と出てきた今回の座談会。最後に子どもたちに一番の思い出を聞いてみました。

怒られたことだって、今では良い思い出

a・k Yと遊んだこと！鬼ごっことか！

Y・N 同じ！aとお庭で遊んだことかな。網の上で寝っ転がったよね。

K・S お正月にもち花を飾ったこと！

みんなで集まれば、いつだって、またあの頃の「おへや」に戻ります。



A・K 私はプールの中で宝探ししたことかな。
C・I リース？しめ縄？を作ったこと。
H・N お正月のコマ遊びがたのしかったなあ。
O・S お昼寝の時、aと話して怒られたことかなあ(笑)
M・N みんなでカレーを作ったことかな。こぐまのごはん美味しかったなあ。

最後に集合写真を撮り終え、隣の公園へ2年生たちが走っていくと、「もう！危ないよ！」と声を掛け追いかける4年生。子どもたちにとつては何気ない一コマかもしれないませんが、私にはみんながそらのおへやで過ごした『あの日々』がまだ繋がっているように見えました。こぐま保育園を卒園して数年が経っても、子どもたちの関係は変わっていないくて、きつとまたこれからも続いていくのだと思います。そんな、目には見えないけれど強く結ばれた絆は、こぐま保育園だからこそ生まれたのではないのでしょうか。

そんな子どもたちの様子を見てS先生は、「この前も卒園児同士で飲んだんですよ。今でも繋がっているってすごいことですよね。」と話してくれました。この子どももきつといつの日か、顔を赤らめながら当時の話に花を咲かせるのかもしれないね。

貝取小放課後子ども教室

W・K



第10回多摩福祉会保育・学童支援合同研究集会開催決定!!

私たちが学び続ける理由～法人合研10年のあゆみ～

【日時】2024年11月9日(土) 9:30～17:00

【会場】こぐま保育園・しろくま保育園・zoom



皆様お誘いあわせの上

ぜひご参加ください。

ご参加いただける方は法人本部
もしくは各施設へご連絡ください。

法人本部 (TEL: 03-6804-8345)

Email: tamafukushikai@gmail.com